

クリスマスキャンドルづくり（4年・水のすがたとゆくえ）

◆ものづくりのねらい

教科書では、主に水の三態変化を扱っている。そしてまとめの段階で、「水以外のものも、温度によって、固体、液体、気体にすがたをかえます。」との記述がある。その例として、ろう（ $50\sim 60^{\circ}\text{C}$ で溶け始める）、鉄（ 1500°C ぐらいで液体に）が紹介されている。

ろうそくを溶かして、好きな色・好きな形のろうそくを作ること、三態変化は物質に共通する変化であることに気づかせる。



◆作ってみよう！・・・夢みるキャンドル

＜準備物＞・ろうそく（100円ショップで大量に購入できる）、クレヨン（色をつける）

- ・作りたい形の型（プリンカップ、牛乳パック、ゼリー入れ物、各種グラス）
- ・空き缶3～4個、なべ、軍手、割りばし、新聞紙

＜作り方＞ ①空き缶はふたを取り、こぼし口をつけておくとし便利。この中にろうそく（短

く折って）と削ったクレヨンを入れる。クレヨンは少しでよい。

②なべに水を入れて火にかける。このなべの湯の中に、ろうそく入りの空き缶を入れて、ろうを溶かす。

③折ったろうそくから、芯をとっておく。芯の長さは型の深さに合わせて切り取る。割りばしで芯をはさみ、型の上に吊り下げておく。

④ろうが溶けたら、型に流し込む。軍手をつけ、やけどに注意する。

⑤ろうそくの色を2～3種類重ねたい時は、下のろうが固まってから次の色のろうを流し込む。

⑥あとは、冷えて固まるのを待つだけだが、ろうが固まるときに少し体積が減って、真ん中が少しへこむ。

●固まったろうそくを型から抜くとき、なかなか取れない場合は、お湯で温めるとよい。

